

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	4
学年	1年	教科書	家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)		
学科	生活科学科	副教材	家庭科ノート(愛媛県高等学校家庭科教育研究会)		

学習目標	① 人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得します。 ② 家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てます。
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の選び方や手入れの仕方について学びます。 被服製作の基礎を学び、被服製作技術検定4級や3級の取得を目指します。
	2 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 健康に過ごすための食事の役割と、栄養素や食品、食の安全性について学びます。 調理の基礎を学び、食物調理技術検定4級や3級の取得を目指します。
2	3 人生をみつめる	<ul style="list-style-type: none"> 人の一生と家族や家庭の変遷と役割について学び、ともにつくる家庭・社会について考えます。
	4 子どもを育てる	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長・発達の特徴を知り、保育の重要性や福祉、親となることについて考えます。
	5 高齢期を生きる	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の生活と特徴について学びます。 高齢社会の現状と福祉や介護について学びます。
3	6 住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 居心地の良い住まいや住まい方について考えます。 住居と健康・安全、住環境と地域社会について考えます。
	7 経済生活を主体的につくる	<ul style="list-style-type: none"> お金の流れを理解し、消費者としての適切な消費生活について考えます。
課題	① 予習・復習…教科書やノートの見直し、検定実技に関する学習 ② 夏休み課題…ホームプロジェクト(家庭生活に関する問題解決学習) ③ 冬休み課題…生活に関するレポート ④ その他 …ノート、プリント、レポート、小テスト、実技テスト	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	生活に関心を持ち、よりよくしようとする意欲や態度を持っている。
II 思考・判断・表現	自ら考えて意思決定をし、ホームプロジェクトや家庭クラブ活動などを通してよりよい人生や生活をつくらうとしている。
III 技能	よりよい生活をつくる生活技術が身に付いている。
IV 知識・理解	人の一生と家族、子どもと高齢者、衣食住や消費生活などについて、理解し知識を身に付けることができている。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2
学年	2年	教科書	家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)		
学科	生物工学・園芸流通環境開発・食品化学特用林産	副教材	家庭科ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会)		

学習目標	①人の一生と家族や家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得します。
	②家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てます。

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 人生をみつめる	・人の一生や家族や家庭、男女平等について学びます。
	2 経済生活を営む	・よりよい消費生活ができるようになります。
	3 衣生活をつくる	・基礎的な縫い方とミシン縫いをします。 ・三角巾を作ります。
	4 高齢社会を生きる	・高齢期の特徴や高齢社会の現状について学びます。
2	5 共に生き共に支える	・共生社会の一員としての生き方を考えます。
	6 衣生活をつくる	・巾着袋を作ります。
	7 住生活をつくる	・より良い住生活ができるようになります。
	8 生活を設計する	・ライフプランを考えます。
3	9 衣生活をつくる	・より良い衣生活ができるようになります。
		・エプロンを作ります。
課題	①ホームプロジェクト：家庭科での学習を家庭生活向上のために生かします。 ②高齢社会について：高齢者への理解を深め、生き方から学びます。	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	・生活に関心を持ち、より良くしようとする意欲や態度を持てた。
II	思考・判断・表現	・自ら考え意思決定をし、ホームプロジェクトや家庭クラブ活動などを通してより良い人生や生活を創ろうとしている。
III	技能	・より良い生活をつくる生活技術が身に付いている。
IV	知識・理解	・人の一生と家族、子どもと高齢者、衣生活や住生活、消費生活などについて、理解し知識を身に付けることができた。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出・記入状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。 (100点法)	

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2
学年	3年	教科書	家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)		
学科	生物工学・園芸流通・環境開発・食品化学・特用林産	副教材	家庭科ノート(愛媛県高等学校家庭科教育研究会) 調理実習ノート(愛媛県高等学校家庭科教育研究会)		

学習目標	①人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得します。
	②生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てます。

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 調理についての基本的な知識や技術を身に付けます。 4つの食品群について理解します。 5大栄養素(炭水化物・脂質)について理解します。 調理実習をします。
2	2 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 5大栄養素(たんぱく質・無機質・ビタミン)について理解します。 食品の選択と衛生について理解します。 食品の安全と衛生について理解します。 調理実習をします。
	3 子どもを育てる	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの誕生と母体の健康を理解します。 子どもの心身の発達について理解します。
3	4 子どもを育てる	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの生活と遊びについて理解します。 子育て支援と福祉について考えます。
課題	①ホームプロジェクト：家庭科での学習を家庭生活の向上のために生かします。 ②正月料理について：自分自身の家庭生活の理解を深めます。	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	生活に関心を持ち、よりよくしようとする意欲や態度を身に付けている。
II	思考・判断・表現	自ら考え意思決定をし、ホームプロジェクトや家庭クラブ活動などを通してよりよい人生や生活を創ろうとしている。
III	技能	よりよい生活をつくる生活技術を身に付けている。
IV	知識・理解	食生活、子どもについて理解し知識を身に付けることができている。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出・記入状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)	